

実質賃金 4 年連続マイナス！ 固定費も変動費も 上昇中！ 何から手をつける？ ～クマ問題は他人ごと？ 中小企業の自然への責任を考えてみよう～

日時 2026年 5月26日(火) 14:00～16:30

会場 コラボしが 21 3階 大会議室 (大津市打出浜 2 番 1 号)

物価上昇が続く中、賃上げの動きはあるものの、実質賃金は 4 年連続でマイナスとされています。企業経営を取り巻く環境は、これまで以上に厳しさを増しています。農産物や水産物をはじめ、木材・紙製品、医薬品の原料など、私たちの生活や産業を支えるさまざまな資源の価格も上昇しています。これらの資源の多くは、森林や海洋などの自然環境によって支えられています。自然環境の変化は、資源の安定供給や企業活動にも影響を及ぼします。

ネイチャーポジティブが重視される今日、生物多様性や自然資本は、環境分野に限られた課題ではなく、地域企業の経営や持続可能性に深く関わるテーマとなっています。原材料の調達、製造、物流、地域社会との関わりは、森林、水、土壌、生態系などの自然資本に支えられており、その変化は企業活動や地域経済にも影響を及ぼします。滋賀県が全国に先駆けて進めてきた「グリーン購入」も、時代とともに対象分野を広げながら、サステナブルな社会づくりを支える取組として発展してきました。本シンポジウムでは、ビジネスと生物多様性のアセスメントをめぐる国際的な動向や、TNFD の基本的な考え方をふまえながら、中小企業にとっての実務的な意味を整理します。また、地銀・信用金庫を含む地域金融機関によるネイチャーファイナンスの重要性にも触れ、地域の企業活動と金融の接点を考えます。滋賀の地域性をふまえ、自然と経済のつながりを見直し、地域企業の持続可能な発展の方向性を一緒に考える機会にしていきたいと思ひます。

SGN の会員同士、新たな交流のチャンス。会場の『コラボしが 21』にてお待ちしております。

基調講演

14:05～14:55



香坂 玲氏

「ネイチャーポジティブ時代の 地域企業と自然資本」

東京大学農学生命科学研究科/農学部
森林風致計画学研究室

教授 香坂 玲氏

「現場から見えてきた、地域と 自然と企業の関わり方」

株式会社キャムズ 執行役員 上田 忠義氏

事例報告

14:55～15:10

パネリストセッション

15:15～15:45

「中小企業の自然への責任を考えよう」

コーディネーター: 京都産業大学 経営学部 教授 宮永健太郎
(SGN 運営委員/SGN 生物多様性と環境・CSR 研究会メンバー)

パネリスト: 香坂 玲氏、上田 忠義氏

千々岩 哲(SGN 生物多様性と環境・CSR 研究会メンバー)

会員交流会

15:45～16:25 参加会員がグループに分かれて意見交換や情報交換を行います

シンポジウム終了後、17:00 より、コラボしが 21 1階 cafe コルネットにて会員交流会 Part2 を開催します。参加希望の方は、同封の「出欠連絡票」よりお申込ください。(参加費 4,000 円(税込))

